

**EDF**The Education for Development Foundation
มูลนิธิเพื่อการพัฒนาที่ยั่งยืนEDF WAS AWARDED
"NGO OF THE YEAR 2012"

ダルニーフォーラム

第四十二号
2022年7月

www.edfthai.org/jp

2022年度奨学生からのお礼状

EDFは、2022年度の奨学金を申請してきた何人かの子ども達の話ウェブサイトなど色々なルートでご紹介しました。お陰様で、その子ども達は全員無事心優しい方々から奨学金のご支援を戴けることになりました。暖かいご支援に心から御礼申し上げます。有難うございました。

今回2022年の奨学金を支給されることになった4人の子供達からの御礼のメッセージが届きましたので下記の通りご紹介します。

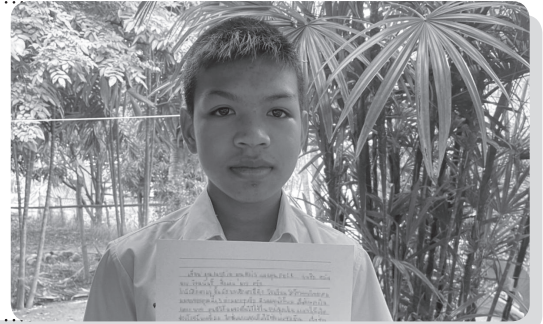


ナッチダー
ロイエット県、中学3年分の奨学金を受給

奨学金をいただけると先生から聞いた時、本当に嬉しかったです。心優しい支援者の方にお礼を申し上げます。これで祖父母が私の勉強に関する費用負担を軽減できるので、私としてはとてもありがたいです。いただいた奨学金で勉強道具や制服を購入し、通学費用として使おうと思っています。

タワンチャイ
スリン県、中学2年生1年分の奨学金を受給

優しい日本人の方から奨学金を戴くことになりました。本当にありがとうございました。僕だけでなく、母もとても喜んでます。僕に進学の機会を下さったことに、僕と母はとても感謝しています。生徒として一生懸命勉強し、家事や母の仕事の手伝いもしっかりすることを約束します。



スウィー
アムナートチャロン県、高校3年分の奨学金を受給

担任の先生から高校進学が可能になったと聞いた時、とても嬉しくてドキドキしました。寄付して下さいました方に心から感謝しています。いただいたご支援は全部、勉強に活かしていきます。今回、奨学金をいただけるとても勉強の励みになりました。将来、進学して自分と家族を養っていくように、頑張って勉強して高校を卒業したいと思います。

アドハム
ナラティワート県、タイ深南部の孤児奨学金を受給

奨学金をくださって、ありがとうございました。奨学金をいただけると本当に嬉しいです。数年前に、僕はテロ事件で父を亡くしてしまいました。今、母が働いて一人で僕の学費を工面してくれてはいますが、経済状況は良くないです。奨学金への恩返しとして、一生懸命に勉強して、母と先生に対していい子でいようと思います。



奨学金は文房具や制服を買うのに使われて奨学生たちの学校生活をより良くさせるだけではなく、彼らの親たちや保護者の負担を軽くすることもできます。

尚、7月1日から2023年度の奨学金募集を開始しております(2023年5月31日まで)。引き続き皆様の温かいご支援をいただきますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

ご支援・ご協力をいただいた皆様へ

平素はEDFに対し絶大なるご協力を賜り誠に有難うございます。

2022年度(2021年7月から2022年6月まで)の奨学金募集も6月末にて締め切らせて戴きましたので、皆様からいただきましたご寄付金の結果に就きご報告いたします。

2022年6月30日現時点で合計7,959人分の新規奨学金のご支援を戴きました。昨年度の8,067人分からは残念ながら減少となり、目標の10,088人分に対し78.8%となりました。

皆様には、コロナ禍での感染対策や物価上昇等ご不便な生活の中にも拘らず、タイの恵まれない子どもたちに対する教育支援の重要性へのご理解とご賛同をいただきましたことに心より感謝申し上げます。
奨学金支援者の皆様、各種募金活動にご協力いただいた皆様に対し、喜びいっぱいの子どもたちに代わり心から厚くお礼申し上げます。

皆様にご寄付のお願いをしています1人当たりの奨学金は1年分で2,000バーツと決して高額ではありませんが、低所得家庭や月600バーツの政府からの手当てだけに頼る高齢者と暮らす子どもたちにとっては、中退せず中学卒業まで通学を続けるための大変大きな助けとなります。

今年度奨学金ご支援分について、これから私共が進める手続きとしては、例年通り、奨学金を振り込む前に奨学生の本籍の最終確認をすると共に、2022年9月中に支援者の皆様宛に送付させていただく写真や報告書の準備を行います。つきましては、もしご住所に変更がありましたら7月末までEDFまでお知らせ戴きますようお願い致します。

また、2023年度(2022年7月から2023年6月まで)の奨学金の募集期間を開始しました。来年2023年5月に進学・進級する子どもたちのための募金活動を行わせていただきますので、是非引き続き皆様方から温かいご支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



EDF 財団 代表取締役

サンペット・ニンラット

活動報告



在タイアメリカ婦人協会「American Women's Club of Thailand」の取締役会長のジェニファー・スパークス氏「左側から3人目」より、EDF事務所に1,200,000バーツの奨学金をご寄付頂きました。11年目の支援金となった今回の寄付金は、タイ国内の200人の女子学生の高校進学に支援に使われます。



タイ国内で飲料メーカーのDurbell社はEDFと協力し、3年目として「有機農業での学校ランチプロジェクト」を実施した10校でのプロジェクトの進捗状況をチェックしました。このプロジェクトは農業や化学肥料を使用せずに昼食用食材としての野菜を栽培する取り組みです。学生たちは実施したプロジェクトの最終的な結果を、の中で感じた問題点と共に、関係者たちに報告しました。
社内でのチャリティー活動・CSR活動を実施することに関心のある企業や団体は、public@edfthai.org または Line @edfthai までご連絡ください。よろしくお願い申し上げます。